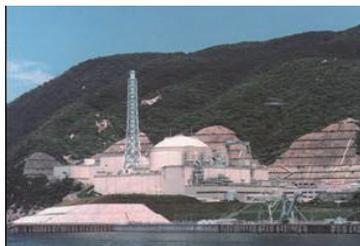


技術交流情報



令和5年3月24日

【技術課題解決促進事業】令和4年度の技術課題解決促進事業について

平成22年度より私どもが取り組んでおります「技術課題解決促進事業」は、県内企業様の「アイデア」と「技術力」で調査・試作を行っていただき、実用化への成立性を見極める事業です。

今年度は、機構課題型（注1）が、全9テーマ（ふげん関連：6、もんじゅ関連：2、ナトリウム関連：1）について募集を行い、敦賀市をはじめ、福井市、鯖江市、坂井市と幅広い地域の企業様にご応募いただき、6社9件が採択となりました。また、企業提案型（注2）については、1社1件が採択となりました。

本事業は、開始13年目を迎えましたが、10年以上という長きにわたり続けられてきたことは、県内企業様をはじめとする多くの皆様からのご支持によるものと深く感謝致します。これからも機構の課題解決に止まらず、県内企業様の原子力分野参入への足掛かりとしての役割も含め進めて参ります。今後ともよろしくお願ひします。

注1：“原子力機構が抱える技術的課題等”について、調査・試作検討を行い、予め実用化への成立性を見極めを行う

注2：“企業様から応募いただく廃止措置に関連する技術開発の提案”について、予め実用化への成立性を見極めを行う

令和4年度技術課題解決促進事業 事例紹介

クリアランス収納容器4段積みへの安全確保に向けた課題解決の検討・試作

屋外倉庫内の収納容器（メッシュボックス）の段積み数を現在の3段から4段積みに変更した際、より安全に保管できるような試作品の検討・試作を行いました。



メッシュボックス4段積み
性能確認試験風景（スマデコ施設内）

可搬型放射線測定器の測定方向固定用架台の検討・試作

機器や配管等の放射能汚染状況の調査を行う重量物のコリメータ（約30kg）を、狭隘なプラント内でより簡便に設定、位置決めを行うための固定用架台の試作品の検討・試作を行いました。



試作品外観

次年度は、令和5年5月に敦賀市及び福井市において、新規技術課題をご紹介する「第52回敦総研オープンセミナー」を開催予定です。また、このセミナーは、運営を開始した第1回（平成16年6月開催）より、年2回程度の頻度で実施しており、技術課題解決促進事業のテーマ紹介を始め、地域企業の方々を対象に原子力機構の研究開発内容や開発された技術を分かりやすく紹介する場として継続していきます。